

2008年(平成20年)8月1日(金曜日)

建設業の出雲土建(出雲市)は、自社開発の木炭製品「炭八」の防音効果を高級マンション向けに売り込みを始める。炭八は、住宅廃材を活用し、三十一日、特許を出願した。子会社の出雲方(ボン)を通じて大と、上の階から下の階へ手建設会社は防音効果を

廃材炭でマンション防音

出雲市)は、自社開発の木炭製品「炭八」の防音効果を高級マンション向けに売り込みを始める。炭八は、住宅廃材を活用し、三十一日、特許を出願した。子会社の出雲方(ボン)を通じて大と、上の階から下の階へ手建設会社は防音効果を

出雲土建が特許出願

授は「炭の弾力性や大きさがうまく作用し、音を吸収している可能性がある」とみている。炭八は、湿度の調整機能を持つ木炭として二〇〇二年に開発した。すでに

出雲市)は、自社開発の木炭製品「炭八」の防音効果を高級マンション向けに売り込みを始める。炭八は、住宅廃材を活用し、三十一日、特許を出願した。子会社の出雲方(ボン)を通じて大と、上の階から下の階へ手建設会社は防音効果を



(河野揚)

防音効果を確認した「炭八」を持つ出雲土建の石飛裕司社長